



東近江市観光
ウェブは
こちらから



東近江市は東西に長く、鈴鹿の山から清らかな水が流れ、琵琶湖までつながるまちです。万葉の時代から受け継がれてきた千年を超える歴史あるまちでもあります。植物が目覚める春の日、そんな東近江市の花にまつわるお話をひとつふたつ。

■ 花にまつわる伝承 (東近江市)

歴史感じ 春を楽しんで



永源寺本殿と永源寺桜 | 東近江市永源寺高野町で

すか。2022年に聖徳太子ご逝去1400年を迎え、東近江地域では近江独自の聖徳太子の魅力をもっとの人に楽しんでもらいためにさまざまな取り組みをしました。歴史的な書物に記されたものだけでなく、近江の風土の中で人々が創

「ハナノキ」に伝わるお話があります。今から1400年ほど前、百濟寺を建立した帰りに聖徳太子がこの地で昼食をとった折、使っていた箸を地面にさされ、その箸が成長してハナノキになったといわれています。不思議なハナノキ誕生の由来。見頃は例年3月下旬ごろです。指先ほどの小さくかれんな花は、今もこの地で咲き続けています。



巨木から小さな花を咲かすハナノキ | 東近江市南花沢町で

さらに春の花をもつひとつ。市内の永源寺地区にはその名もずばり「永源寺」を冠する桜があります。永源寺桜は「臨濟宗永源寺派大本山永源寺」の境内で見つけたことからその名が



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【アクセス情報】北花沢、南花沢のハナノキへは、近江鉄道八日市駅から、ちよこっとバス湖東線乗車約30分、南花沢下車、徒歩2分と5分。永源寺へは八日市駅から近江鉄道バス乗車約30分、永源寺前下車すべし。市観光協会 0748(29)3920

この地に伝わる物語とともに春満開の季節を楽しみ尽くしましょう。季節の情報には東近江市観光ウェブをチェック。(東近江市観光協会・蒲生美和子)